



体を鍛えてインフルエンザ知らず。でもちょっと具合が悪ければすぐ受診を／東京都狛江市

# インフルエンザ 特効薬の品不足

合併症で死なない自己診断法

特効薬と診断薬が普及し、治療革命が始まった。  
しかし、予想を上回る猛威で、ピークの2月を前にすでに特効薬  
の在庫がそこをついている。革命元年はパニックに陥っている。

編集部 齋藤義浩

し、中身を小分けにして飲むことで納得してもらおう。が、カプセルも残りはあとわずか。これが切れたらお手上げだ。補充の予定もまったくない。内科医は、「これからは重い症状の患者に限定して処方せざるをえない」と話す。

親が要求したのは、オセルタミビル（商品名タミフル）というインフルエンザの特効薬。ウイルスの増殖に必要な酵素の邪魔をする、画期的な薬だ。

中外製薬がスイスから輸入・販売し、1歳以上の幼児向けのシロップ薬とカプセルを販売している。しかし2月の流行のピークを前に、全国的な品不足に陥った。

同じ効能で、グラクソ・スミスクライン社がフランスから輸入・販売している吸入方式のザナミビル（商品名リレンザ）も品薄だ。

「薬よこせパニック」は日本中に広がり、臨床の現場では深刻な実害も起きている。

新潟県では6歳の保育園児がインフルエンザの合併症の脳症で亡くなった。タミフルを投与したかったが、なかった。

千葉県のある医院では、休日の当番医のとき63人のインフルエンザ患者がきた。しかし特効薬がそこをつき、これまでの感冒薬で我慢してもらった。

パニックの原因は、今シーズンの流行の立ち上がり異常に早かったことだ。

インフルエンザはふつう、1月

「特効薬のシロップがあるはずでしょう。どうして出してくれないんですか」  
東京都内のある内科医は、1月に入ってから毎日のようにこんな突き上げを受けている。相手は、インフルエンザでぐったりした子どもをかかえる親。必死の形相に心が痛むが、近くの調剤薬局のどこにもシロップはないのだ。  
結局、大人用のカプセルをばら

から患者が急増し、4月上旬に終息する。しかし今シーズンは昨年12月中にすでに九州や北海道を中心に患者が増え始めた。1月11日現在の学童の患者は1万8千人を超え、昨シーズン同時期の10倍だ。このため九州、北海道を中心に注文が殺到し、余波が全国に及んだ。中外は当初、カプセル300万人分、シロップ67万人分を見込ん

だ。過去10年間の平均患者数をもとにしたのだが、この読みが大きく外れた。全国の病院や卸に異例のおおびを出す一方、3月までに79万人分を緊急輸入する。

## 2日で90%が解熱

グラクソも、供給を当初より10万人増やし30万人分にする。追加分は製造元がフル稼働して

作るので、これ以上は増やせない。

こんな品不足騒動がなければ、今年「インフルエンザ治療革命」元年になるはずだった。

二つの特効薬は2001年2月から保険がきくようになり、昨シーズンの一部の医師だけが使っていた。その効果は抜群で、「投与して1日で患者の半数の熱が下がる。2日後には90%が解熱

する」

との評判が、一気に全国の開業医に広がったのだ。

日本ではインフルエンザがもとで亡くなる人は3千人から多い年で二万数千人。

大部分は肺炎を併発した高齢者。長野県松本市では年明け早々、特別養護老人ホームで、7人の高齢者が肺炎で死亡した。インフルエ

ンザとの関係が疑われている。

4歳以下の幼児では毎年100〜200人が合併症の脳症・脳炎を起す。うち3分の1は24時間ほどで急死する。

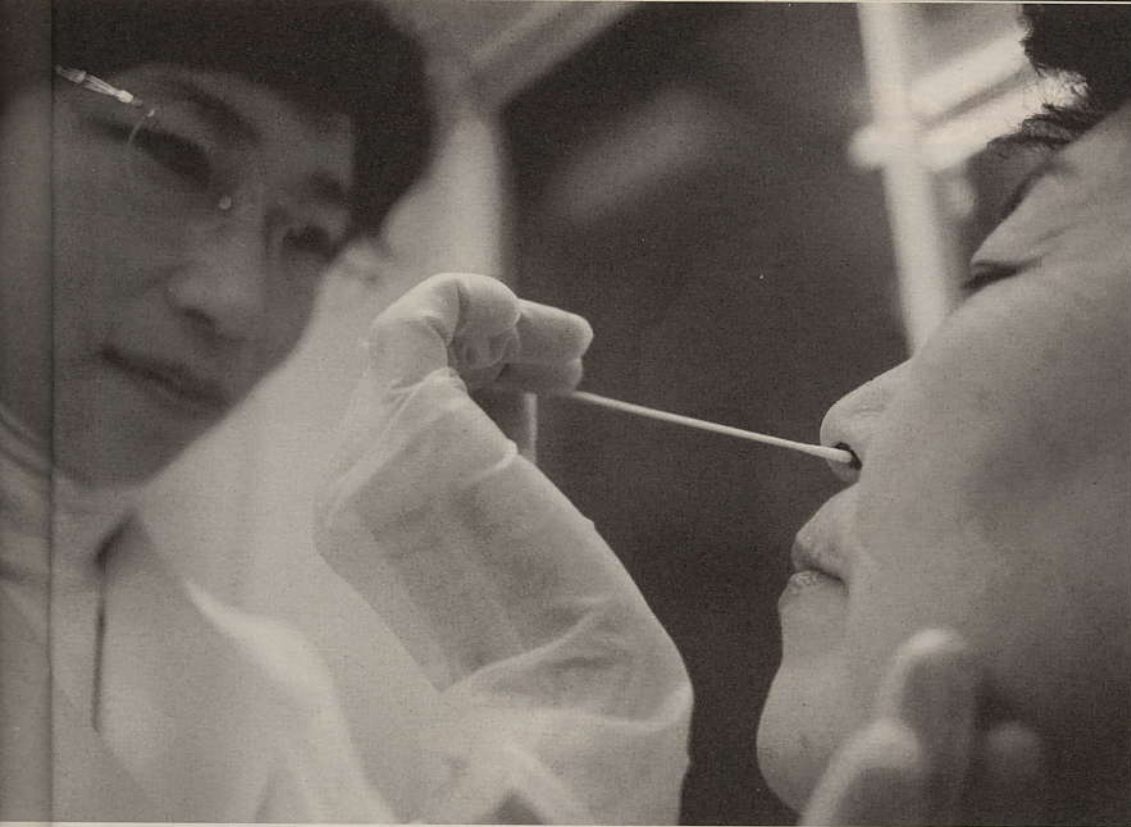
まただが、ウイルスが心臓に入って合併症の心筋炎を起し若く健康な人が突然死に至ることもある。大阪医科大（大阪府高槻市）第3内科の北浦泰教授（61）は、「心筋炎の初期症状はインフルエンザに似ており、心臓の異変を見落としてしまう」という。

## 発症48時間内に投薬

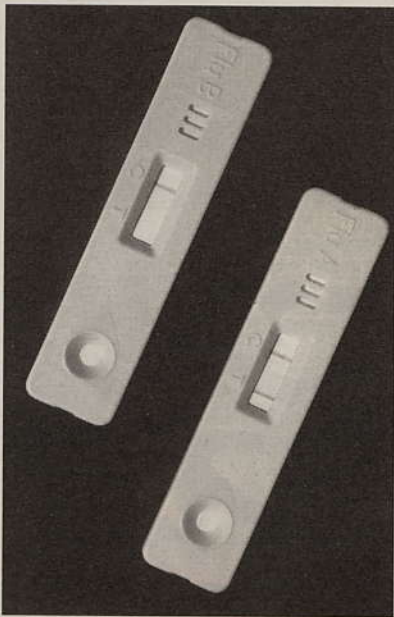
これほど重大な病気なのに、これまで医師ができたのは、「とにかく安静に」といって対症療法をし、患者の抵抗力を頼りに座して待つだけ。ウイルスを攻撃する方法がなかったからだ。

しかし、69ページの図に示したように、インフルエンザとふつうの風邪はまるで別の病気。のどや鼻の症状は共通だが、インフルエンザには重い全身症状が伴う。本来は、風邪とは違う治療をすべきだ。その医師の願いが特効薬でようやくかなった。

特効薬の投薬のタイムリミットは発症から48時間以内。これを過ぎるとウイルスの増殖がピークを迎え、何の意味もない。つまり、発症した翌日までに病院に行ったほうがいいということになる。そうすれば多くの医者は、最近



インフルエンザの迅速診断。まず鼻の粘膜細胞を取る(薬は日本ベクトン・ディッキンソン社のキャピリア)



ウイルスがあれば、下のプレートのように2本のラインが出る



抽出液に粘膜細胞を移す。ウイルスがあれば液に溶け出す



検査プレートに抽出液を滴下。15分待つ／大西医院

# 光文社 ペーパー ボックス



## 太平洋に消えた勝機

Lost in The Pacific



最新刊  
佐藤 晃

Akira Satto

帝国海軍が日本を破滅させた!

太平洋戦争の敗因は陸軍にあるという「常識」は、真つ赤なウソである。真相は戦略なき戦争を繰り返した海軍にある。私たちが信じてきた歴史がここに崩壊する!

●本体900円+税

## 恋する乙女の英会話

Cool Expressions for Girls in Love



Cool Expressions for Girls in Love

最新刊  
尾関直子

Naoko Ozeki

1冊まるごと恋のホンネ・トーク炸裂!

英語で自分の気持ち(ホンネ)を話してみたいと思いませんか? アメリカの女性たちが、ふだん当たり前に使っている日常表現で、英語の恋をしてみよう!

●本体667円+税

好評既刊(各:本体667円+税)



## 日本がアルゼンチンタンゴを踊る日

The Day Japan Came Crashing Down

増刷出来  
ベンジャミン・フルフォード Benjamin Fulford



## トンデモ英語デリート事典

A Catalogue of Fake English

ケビン・クローン Kevin Clone



## ネコと話す英会話

tongue-wag with your cat

アリスン&ハセジュン ALISON DEVINE & JUNKO HASEGAWA



## 1日1話 通勤タイムの英語塾

Business Small Talks for "Ryemen" in Japan

尾関直子 Naoko Ozeki



## 経済特区・沖縄から日本が変わる

A New Dawn in Offshore Okinawa

松井政就 Masanari Matsui

## インフルエンザと風邪の違い

	インフルエンザ	風邪
ひき始め	悪寒、頭痛	くしゃみ、鼻水
主な病状	発熱、関節や筋肉の痛み 鼻水、咳、のどの痛み	鼻水、咳、のどの痛み
熱	38~40℃が3~4日続く	37.5℃程度まで
倦怠感	強い	ほとんどない
鼻水、鼻づまり	あとからひどくなる	最初のほうがひどい
咽頭	腫れる	やや赤くなる
結膜の充血	ある	ない
合併症	気管支炎、中耳炎、肺炎 脳症、心筋炎	ほとんどない
病原体	インフルエンザウイルス (A型、B型)	ライノ、アデノ、コロナ RSなどのウイルス

いほうがふつう。高齢者は、「微熱があつて、なんとなく元気がないが、あとはふだんと変わらない」といった症状で、すでにインフルエンザが発症している。逆に子どもは、38度の熱があつても遊び回ったりする。

どちらも、痛みや倦怠感をきちんと表現できないことが多い。家族や周りの注意力が頼りになる。「だるさや頭痛を軽くみないこと。今はインフルエンザの流行の時期なんだから、たとえ微熱でも迷わず病院にいくことです」  
けいゆう病院(横浜市西区)の

## ワクチンまだ間に合う

皮膚なことに、予想外の患者数と新薬に対する期待から薬不足パニックが起き、革命は元年から頓挫することになりそうだ。  
ただ、たとえ新薬がなくなっても昔に戻るだけ、という見方もできる。そうなれば治療に頼るのでなく予防に力を入れればいい。そこで、大西真由美医師は、(区)の大西真由美医師は、「最善の予防策はワクチン。年明け前までに済ませるものですが、今からでも間に合います」と訴える。

あとは、厚生労働省が推奨している生活上の感染防止6カ条を守ること。項目を挙げると、

- ・ 人込みを避ける
  - ・ ふだんから休養をとる
  - ・ 十分な栄養と水分をとる
  - ・ 外出時はマスクをする
  - ・ 手洗いが励行する
  - ・ 室内を乾燥させない
- とある。このうち最初の2項目は現代社会では無理。マスクはのどを乾燥させない効果はあるが、飛沫の侵入を防止できない。  
ゆとうクリニク(東京都港区)の湯藤進院長は、うがいのやり方に疑義を唱える。  
ウイルスの70%は鼻の粘膜から入る。ならば、鼻に水を吸い込んで吐き出す「鼻うがい」をすべきだというのだ。  
とりあえず鼻うがいに挑戦するとして、せっかく始まった治療革命を断念するのももったいない。新薬は、もし強毒の新型インフルエンザが誕生しても効果がある。企業まかせではなく、国家として新薬を備蓄することを早急に検討するべきだ。

## だるさ、頭痛に注意

また、乳幼児や高齢者では典型的なインフルエンザの症状が出ない人がいるからだ。

しかし、患者の体内ではウイルスが着実に増殖している。すると翌日になって40度の熱で倒れたり、合併症がしわじわ進んだりする恐れがある。

「ゆうべから頭が痛くてなんとなくだるい。熱っぽいので体温計で測ったら37.5度あった」という中途半端な症状しか出ない人がいるからだ。

迅速診断がなかったころは、風邪と誤診されたインフルエンザ患者も多かったとみられる。というのも、患者の中には、